



第15回 北海道総合畜産共進会
平成23年9月11日(日)



Close up

- * 第15回北海道総合畜産共進会
- * あめでとうございます満70歳

2011. **10**
OCTOBER
No.022

第15回

北海道総合畜産共進会 肉用牛部門で快挙

（肉用牛部門・馬部門）が9月10・11日に、音更町の十勝農協連家畜共進会場で開催されました。

昨年は、口蹄疫発生の影響で十勝共進会同様、開催の自粛を余儀なくされ、今年5年振りに行われました。「総合共進会」は4年に一度の開催）

全道各地から出品者、関係者が十勝へ集結、天候も良く多数の来場者で会場も大変な賑わいを見せました。

本共進会は、優良家畜の展示を行い、生産意欲・管理技術・知識の向上などを図り、畜産経営の安定に寄与することを目的としています。

今回は、肉用牛部門に115頭（雌牛群6組）、馬部門に40頭、当JA管内からは十勝共進会で好成績を収めた8頭が出品、全道トップクラスとなりました。

肉用牛は第1～9部門に区分、各部門高いレベルの牛が揃い、その中で厳しい審査が行われ、当JAがエントリーしたら部門でなんと、第1～4部門まで連続して1等1席となる快挙となりました。

第15回北海道総合畜産共進会出品結果（JA十勝池田町出品牛）

畜種	区分	部	結果	名号	地区	氏名
肉牛の部	未経産	第1部	1等1席	あつか	信取	高嶋紳一
			2等6席	このみ	信取	(有)大塚牧場
			3等	くるみ	東台	河口賢悟
		第2部	1等1席	あつか	信取	高嶋紳一
			3等	くるみ	東台	河口賢悟
		第3部	1等1席	きよなつき	東台	清水孝悦
			2等2席	きよあやの	東台	清水孝悦
		第4部	1等1席	ちやこ	東台	穂田豊治
		第6部	2等1席	おとは	東台	清水孝悦
			2等3席	みなづ	東台	河口賢悟
未経産最高位			きよなつき	東台	清水孝悦	



10月号 CONTENTS

表紙	1
Close up	2
21NEWSアラカルト	6
管理部よりお知らせ	9
しょくいくつうしん	10
農村派遣研修報告	11
海外研修報告	12
生活課より	14
J Aカレッジ	14
生産資材課より	15
金融共済課より	16
當農部通信	18
農産部通信	20
畜産部通信	22
今月のオススメ	24
理事会の動き	24
編集後記	24



表紙

9月11日に開催された北海道総合畜産共進会において最高位を受賞した清水孝悦さん（左より4人目）の「きよなつき」を中心に撮影した写真です。



第1・2部門で1等1席に輝いた高嶋紳一さんの「あつか」号

田豊治さん（東台）の「ちゃこ」号と審査の結果がアナウンスされていくにつれ、会場のどよめきは大きくなつていきました。池田の勢いはさらなる大快挙へと続き、各部1等1席となつた牛で行われる最高位審査では、「未経産最高位」に3部1等1席の



第4部門で1等1席に輝いた
穂田豊治さんの「ちゃこ」号

第1・2部門は高嶋紳一さん（十日川）の「あつか」号、第3部門は清水孝悦さん（東台）の「きよなつき」号、第4部門は穂

「きよなつき」号が選出されました。

北海道共進会での最高位受賞はもちろん当JAにとつては初、この記録づくりの結果に大きな功績を残す事となりました。

この2日間の最終調整、6月から約3ヶ月間の調教、毛刈り、管



池田の出品牛が3頭並んで
行われた最高位審査の様子

理の徹底が実を結んだ努力の賜物であります。出品者の皆様につきましては、長期間大変お疲れ様でした。今後もこの成績の更なる上を目指し、池田町の和牛生産改良の発展へ繋がつていいくようご協力願います。（記事・畜産部畜産課 榎木和也）



第3部門で1等1席に輝いた
清水孝悦さんの「きよなつき」号

9月19日の敬老の日に因
み、満70歳の組合員さん及
びその家族の方に、今年も
敬老プレゼントが贈られま
した。対象者は昭和16年1
月から12月に生まれた男性

7名・女性2名の9名の方
達です。
9月15日・16日の両日、皆
鈴木組合長、藤田常務がそ
れぞれの家を訪れ、今後ま
すますの健康と長寿を願つ

てお祝いの品を届けました。
満70歳のお喜を節目に皆
さんのやうな元気活躍を願つ
ています。
(写真は左上段より横に50音
順に掲載)





秋田 大治さん
昭栄



北西 敏子さん
千代田



北村 隆さん
東台



十河 延行さん
昭栄



野上 ツタ子さん
東台



播川 合静雄さん
東台



坂東 昇一さん
千代田



坂東烈さん
利別東



村瀬勝さん
東台



施設課

食用馬鈴薯受入開始

秋空のもと食用馬鈴薯が8月22日より受入が開始されました。

生産者の皆様は小麦収穫が終わり一息つく間もなく収穫が開始され大変ご苦労様です。全体会議で収穫基準も決定し受入しております。

馬鈴薯の作付面積は昨年より若干減少しておりますが栽培方法の変更により増収が見込まれており、受入時には原料3.6t毎にライマン計測を行い生産者毎に品種別に保管しており需要に合わせた選別を行えるよう保管管理しております。9月5日より選別を開始しておりますがお預かりしました原料を良質な品質提供と歩留まりを上げ生産者に喜んで頂けるよう頑張ります。選別状況も後ほど報告させて頂きます。

(記事・農産部施設課 本郷浩二三)

農産課

ごぼう生育状況



本年は、ごぼう部会で作付の前に土壤のPH測定とセンチュウの検査を行い品質向上に向け取り組んでおります。春先は、4月下旬に播種をされた方もおりましたが、ほとんどの方が5月上旬の雨の影響で農作業が全体的に遅れ気味となりごぼうの播種も遅くなりました。その後の生育は順調で、8月9日の生育調査では播種時期による生育差は見られたものの長さや太さは平年並みで、昨年のような根曲がりも少なく、やけ症もほとんどない結果でした。9月上旬頃より収穫の適期を迎えましたが、9月に入ってからは雨が多く収穫作業が出来ない日が続いており、ごぼうが太くなりすぎることが心配されます。全体的に雨の影響で収穫作業が遅れ気味ではあります、品質の良いごぼうの出荷に向け収穫作業にあたっていただきたいと思います。

(記事・農産部農産課 上田宝文)



管理課

外部研修報告会

先月に引き続き、職員の外部研修報告会を実施いたしました。今回は「JAカレッジ・中堅職員研修」に参加しました給油課、緑川職員からの報告です。

意識改革ではセルフエスティーム（ポジティブな自己概念）を向上させる方法を学び、能力開発ではプレゼンテーションのスキルアップトレーニングを受講しました。課題研究では「共済事業のCS向上について」をより実践的な形で実現すべく、グループで討議を行ったようです。当日はパソコン（パワーポイント）を使っての本格的な報告会となり、約8週間の長期研修が大変有意義なものであったことを熱く語っていました。今後の更なる飛躍と活躍に期待するところであります。

(記事・管理部管理課長 遠藤泰志)



施設課

安全衛生 講習会

平成23年度農産物の選別開始に当たり、馬鈴薯を皮切りに選別に合わせ9月5日に豆・玉葱・長芋といった選別従業員を対象に総勢60名の出席で安全衛生講習会を馬鈴

薯休憩所において開催致しました。

今年は大きなスクリーンを使ってパソコンより映し出される資料により講習会が開催され、今年の生産状況作業安全サイクル、防災マニュアル、5S定義、労働災害防止10カ条、健康管理の面について説明を実施致しました。

又、9月12日において「0災害」の目標であります、1500日を達成致しました。今後は2000日と目標をかけ、職員は勿論パート従業員の協力なしでは続きませんので、今後も一丸となり「0災害」を継続し安全で働きやすい職場に取り組んでいきます。

(記事・農産部施設課次長 山内 守)

ボランティアグループ はこべの会

ふれあい広場2011

ボランティアグループ「はこべの会」(会長：田村奉美)では、8月27日(土)～28日(日)に池田町田園ホールにて開催されました“ふれあい広場2011”に参加致しました。本年は27日に前夜祭が行われ福祉映画「レオニー」が、昼夜2回上映され製作監督松木氏による講演もありました。28日の本祭では田園ホール前庭で、会員が持ち寄りました新鮮野菜や花卉の販売を行い32℃という炎天下の中、昼過ぎには完売となりました。売上金につきましては昨年より多く60,850円となり東日本大震災復興支援金と社会福祉協議会へ寄付させていただきました。本年は町民が作成した折鶴を田園ホールに飾り付けしビデオメッセージにして被災地を励ます企画もありました。当JAでは「こだま会」の会員皆様にもご協力いただき、沢山の折鶴が集まりました。折鶴は展示後、再生ハガキにして被災地へ送ることになっております。今回ご協力していただいた皆様、並びにご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

(記事・営農部営農課 藤山春雄)



農産課

コープさっぽろとの 産地交流会開催

9月17日（土）、コープさっぽろの組合員との産地交流会を開催いたしました。

コープさっぽろとの繋がりは、トドックで知られる生協の宅配システムで、産直商品として取引を頂いております。特栽小豆を中心に年間1000俵近くの特栽豆類を供給しております。当日は27名の参加を頂き、川合地区の棚沢達也さんの小豆畑にて特栽小豆栽培に対する思いや今年の天候、農作物の作柄についてお話を伺いました。圃場視察終了後、小豆氷温ストレージに場所を移し、取組の経過をお話させていただきました。ストレージ内のヒンヤリ感、フレコンバックがびっしりと並んでいる様子に驚きと感心の声が響いておりました。最後に農産センター穀類乾燥調整施設新工場にて、豆類が製品になるまでの工程を説明し産地交流会は終了となりました。

消費者へ農業の大切さを訴え、農業の理解を得ると共に、池田の特栽豆類の消費拡大のため、こうした取り組みを今後も続けていかなければならないと改めて実感する機会となりました。最後に圃場視察を快く引き受けた棚沢さんにおかれましては、お忙しい中ご協力を頂き感謝申し上げます。有り難うございました。

（記事・農産部農産課 新沼二郎）



東台地区 堀井浩明さんの水田の写真



農産課

もち米収穫が 始まりました！

当農協管内では青山1件、千代田1件、東台2件の合計4件により760aのもち米を作付けしています。今年から従来の“はくちょうもち”という品種から“きたゆきもち”という①白度が高い②刈り遅れの品質劣化が少ない③粒が大きく収量性が高い④対冷性が強いという特性を持つ品種に全面切替えを行っています。

本年の水稻の生育は、開花時期に温度も確保されたことで不稔割合も少なく、昨年に引き続き生育が早まって推移しました。これにより刈取も9月14日に開始され、平年をやや上回る収量が見込まれています。しかし、このきたゆきもちは「いもち病」に対する抵抗性がはくちょうと比較して弱いため、本年は天候も相まって一部で発生してしまいました。次年度は本年の経験を生かし、いもち病への対策を強化して安定生産に繋げていきたいと考えています。

この新しい品種は11月に開催される「農業祭のもちまき」の材料になる予定です。もちまきのもちを食べる時に昨年までとの違いを少し意識して召し上がってみてはいかがでしょうか。

（記事・農産部農産課 岡本富之）



施設課

小麦移送開始

小麦受入終了後8月5日より調製を開始し、広尾サイロへの移送分2500tの売渡を行い、移送は8月25日より行い9月8日まで予定数量の移送が終了しております。

随時製品が出来次第売渡を実施しておりますが少しでも歩留まりがアップ出来るよう努力致しました。広報が届く頃には全量売渡も終了している事と思います。

(記事・農産部施設課 進藤智博)

管理部よりお知らせ

5S活動の立ち上げ

5S活動とは、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躾」の頭文字がSから始まることから5Sと言われ、自分たちの職場環境の改善に、自ら取り組む活動のことです。

この活動は、環境美化及び、業務・職場の改善を目的として行い、最終的には職員満足、顧客（組合員）満足、組織力の向上を目的としております。推進委員は各事業所及び部署から、自薦・推薦による7名で構成され、5S活動の中心的役割を担います。

具体的には、5S活動の活動内容を検討・策定・発信し、この委員会から出された内容を、責任者会議（部長室長会議）が承認・指示を行い、リーダー会議（課長会議）が各部署で実践することになります。（組織図参照）

今後様々な研修や、小さな活動を積み上げ、改善意識の醸成がされる取組を開始致します。

5S活動組織体制

5S責任者会議（部長、室長会議）

5S活動推進委員会

5Sリーダー会議（課長会議）

本所事務所
(金融、管理、畜産、農産、営農)

池田支所

給油課

生活課

資材課

施設課

5S活動推進委員メンバー

委員長

金融部金融共済課課長 折笠大輔

副委員長

購買部給油課 緑川強

委員

池田支所課長 竜川正之

畜産部畜産課課長 三好清司

金融部金融共済課 秋野健太

農産部農産課 菅原ゆかり

農産部施設課 和田亜紗美



9月3日(土) 第4回目作業

天気が悪いけれど一生懸命作業！



野菜収穫作業～スイートコーン試食～

9月3日、青年部食育圃場にて今年度4回目となる食育活動に親子5組、青年部員24名が参加し、今まで大切に育ててきました野菜の収穫作業を行いました。

当日は風が強く、時折雨が降るなど厳しい条件でしたが、参加して頂いたご家族全員のご理解、ご協力により、又、多数の青年部員の参加でスムーズに収穫出来ました。

作物の生育は、ニンジンに多少の実割れがあったものの、馬鈴薯、玉ねぎ、スイートコーン共に十分な収穫量となりました。

収穫終了後、農産センター倉庫内で雨を凌ぎながら、もぎたてのスイートコーンを茹でて味見をし、参加者全員で収穫の喜びを感じる事が出来たのが、何よりも嬉しく思いました。

今年度の食育圃場での作業は無事に終了となりましたが、普及センターのご指導や役場農政係のご協力があってこそ、実現出来た青年部食育事業だったと思います。

ご協力頂きました皆様大変ありがとうございました。（記事・青年部食育担当 副部長 水上裕喜）

農林水産省職員農村派遣研修報告

農林水産省
及
川
真

8月11日から9月9日まで千代田の杉山照さん宅で研修をさせていただきましたので、概要と感想についてご報告させて頂きます。

研修概要

杉山農場では玉ねぎの収穫・選別作業を行いました。

農業機械が圃場に入れるよう玉ねぎを寄せて、ハーベスター及びピッカーに乗り込み、掘り起しきされ次々に機械上部へ上がつてくる玉ねぎを手で選り分ける作業を体験させて頂きました。

また、杉山農場や池田町役場のご好意により、様々な場所の見学や作況調査及び青年部・女性部の研修にも同行させていただき、非常に勉強になりました。（農産センター、麦乾燥調整施設、小豆氷温ストレージ、農業改良普及センター、ワイン城、十勝池田町農協、

く、食品産業全体の振興の中で農家も一部その恩恵に与えることができるようになっていく必要があると思われます。

食品関連事業社の利益と農家の利益は相反するものであるかのように考えがちですが、物の調達には事業者も苦労するものであり、農業者と食品関連事業者が適切に協力して経済活動を行ふことで、双方に利益が生じる可能性があると考えます。

企業とつながり、地域の農業者とも信頼関係を築いていました。この事例のように流通業者、小売業者や外食産業等のもたらす付加価値や収益を、存分に農業にも享受させるためには、農家とそれらの食品関連事業者を対立概念とする「ことな

多くの農業関係の方々の声と農業に対する考え方を聞くことができ、非常に有意義な研修となりました。

雄大な耕地で太陽の光を浴び、農作業に汗を流すことはとても気持ちが良いもので、皆様が語ってくれたこ

れがえのない財産となりました。私の命題は「農業・農村の改善に役立つ仕事をする」

です。この研修で得た経験をしっかりと受け止めて、自分なりに消化し、今後の仕事と人生に活かしてまいります。

最後に、このような機会を設けて頂いた、北海道町

本人 後列右から3人目



平成23年度JA系統飼料畜産担当者海外研修に参加して

購買部生産資材課 鈴木則宏

今回、7月12日から19日までの8日間の日程で米国研修に参加してまいりましたのでその報告をさせていただきます。

%を13%～15%に落とすことができる。

7月13日（現地時間）
CGBエンタープライズ社
「ウチカ」エレベーター

イリノイ州におけるカントリー
エレベーターで周辺1300戸の
農家を受け入れている。全米にお
ける原料集荷地域を5地域に分け
たうちのノーザンイリノイ地区に
属する。保管能力約9万トンでト
ラックによる受入れが4か所あり
1日600台の受け入れが行われ
る。搬出は川を渡る運搬船へ1時
間当たり1000トンの積み込み
能力があり1日最大4隻の積み込
みができる。取り扱いしているも
のは、トウモロコシ、大豆、小麦、
DDGS（エタノール抽出粕）が
ありGMO（遺伝組み換え品種
のみの扱いとなっている。出荷農
家とは個々に契約をして、出荷月
と受け入れ単価をあらかじめ決め

てある。急な持ち込みにも対応す
るが基本的には契約価格よりも安
くなる。

ヘーケンバウ農場
(シカゴ周辺の穀物生産農家)

CME
グループ
取引所

大豆・トウモロコシの生産農家
であり兄弟2人で経営をし、収穫
時期のみ1名雇用している。経営
面積はトウモロコシ約320町・
大豆160町を作付している。こ
の地域の平均的な農家の経営面積
は400町～480町程度であつ
た。今年は春の長雨の影響で播種
作業が遅れたがトウモロコシの播
種で1日当たり60町はこなしてい
る。夏以降の天候が順調であれば
9月の3週目頃に収穫が始まる予
定である。農家個人で保管施設と
乾燥施設を所有しており保管能力
は4千トン、乾燥能力は1時間に
15～18トンで収穫時水分19%～26

GS等)、金利、株価指数、外国
為替、エネルギー、金属、天候、不動産などの投資商
品を扱い年間取引額は1兆ドルを
超える。ビルの階により取扱商品

が区別され取引はネット等による
電子取引約80%と相対取引約20%
が並行して行われている。農産物



取引の単位は5000ブッシュル（約135トン）となり取引所の会員にならなければ取引には参加できず、金農のトレーダーも「みあげ証券」にオーダーを出し代理で取引を行つてもうつてゐる。農産物取引フロアでは先物取引（実際に農産物が動く取引）と「オプション」と呼ばれる権利を購入する取引がある。この「オプション」とは例えば「7月に相場に関係なく一定額（5000ブッシュル）を購入する」というようなもので、相場に左右されず一定の価格で購入する「権利」を売り買ひすの取引であり、先物とオプションを合わせた取引で実際に農産物が動く取引は5%程度であり残りの95%は利益確保のためのマネーレースと聞いた時には驚いた。最近年方面の方の見学が多いとも聞いた。



サイロと人間の対比

7月15日（現地時間） NGC・CGB本社ビル

ミシシッピー川河口から260kmの内陸に位置し、CGBが所有する集荷工レベーターから年間約1100万トンの穀物を輸出してゐる。輸出品目の54%はトウモロコシで40%が大豆でその他が6%となつてゐる。輸出先国別では、日本が54%、中国18%、韓国6%、その他22%である。この工レベーターは保管を目的としており、河川運搬船へ積み替え施設

NGC（全農グレイン株）全農、農林中金、株組合貿易、全農サイロ㈱、米国全農組貿易㈱が株主となつており主な仕事として、穀物売買、輸出書類の作成、河川運搬船・輸出船の物流管理、市場開発などを行つてゐる。

CGB、1988年に全農と伊藤忠グループが買収した。主な仕事として、穀物の集荷・販売・保管・加工および輸送などがあり米国中西部のミシシッピー川流域に60基を超える集荷工レベーターを所有し、年間12百万トン以上の穀

物を集荷していくと保管施設規模は全米9位である。CGBでは遺伝子組み換えをしていない品種の作付を農家に依頼しており、需要は日本と韓国だけでありビール原料としての需要が大きく飼料用としての用途で輸入しているのは日本だけである。

NGC輸出工レベーター

物を集荷していくと保管施設規模は全米9位である。CGBでは遺伝子組み換えをしていない品種の作付を農家に依頼しており、需要は日本と韓国だけでありビール原料としての需要が大きく飼料用としての用途で輸入しているのは日本だけである。

ている。

今回の研修を通じて予想以上に米国という国のスケールは大きく、そこでCGBやNGCの方々が日本向けの穀類を懸命に集荷し送り出してくること。国民性とでもいいましょうか、米国でも遺伝子組み換え穀物が直接人の食卓に出るのは嫌うがそれを原料とした油や食べた牛の肉は気にならない点などは感心させられました。最後になりましたが、研修に参加させていただき貴重な経験をさせていたしました組合員・組合長をはじめとする職員の皆様に感謝を致しまして研修報告とさせていただきます。



農家個人の保管施設

生活課より

きもの大総合展

とき 10月14日(金) 午前10時～午後7時

15日(土) 午前10時～午後6時

ところ NCおびひろ 3Fグランドホール
帯広市西5条南14丁目 ☎0155-23-1361

展示品 女服・宝石・婦人服・フォーマル・
コート・バッグ・メガネ

☆期間中ご自由に会場へお越しください

☆会場受付にて当JA名またはAコープ名をお申し出ください

新作振袖フェア すべて揃えて **29.4万円より**
※オーダーレンタルも受付中 **12.6万円より**

ご予約頒布品 北洋産紅鮭(半身1kg) 500円でご提供いたします

※生ものですので開催日5日前までにご予約願います

参加について詳しくは 購買部生活課 ☎572-3131



大学・短大・専門学校生卒大歓迎

J A グループ職員・社員養成学校

JAカレッジ

- 60名 ●1ヵ年、全寮制
- 高校卒(見込)、21歳未満男女
- 大学、短大・専門学校卒(見込)、24歳未満男女
- 試験日: 12月12日・13日・14日
- 願書受付: 9月12日～11月14日

JA、農業関連会社へ

平成20.21.22年度
100%就職

お問い合わせ・資料請求

(財)北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1
(JAカレッジ) ☎0120-918-417
<http://www.ja-college.jp/>

生産資材課より

SUZUKI

SUBARU

JA Group Presents

秋の新車 キャンペーン

2011年11月30日登録まで

**スズキ・スバル・三菱
新車全車種対象**

乗用車新車
ご購入で **20,000円分の
オプションプレゼント!!**

軽トラック
ご購入で **スタッドレスタイヤ
4本(ホイール付き)プレゼント!!**

エコカー減税
対象車
盛りだくさん!

MITSUBISHI

SUZUKI CARRY

SUBARU SAMBAR

mitsubishi MINICAB

クルマ
JAグループ
マイカーローン

詳しくは店頭の説明書、
またはホームページの説明書をご覧ください。

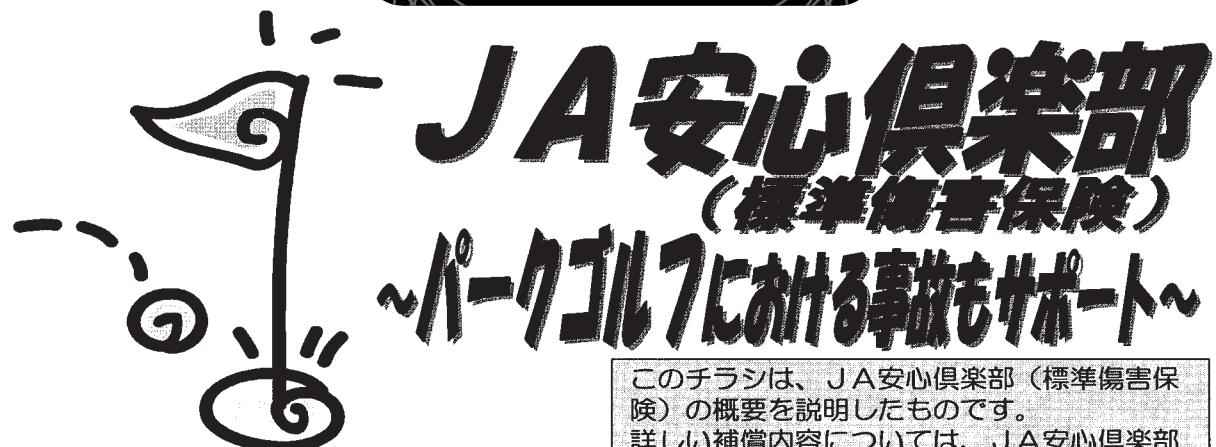
JAバンク
<http://www.jabank.tokachi-ikeda.co.jp>

JA共済
★ご自身とご家族の保障
★相手への保障
★お車の保障
フルマスター

お得な自動車共済
セット割引
JA共済オリジナル
対人賠償の特典
約7%割引

おクルマのことならJAグループにお任せください!
JA全道農業協同組合 JAバンク JA共済 ホクレン

金融共済課より



こんなときに保険金をお支払いします。

このチラシは、JA安心俱楽部（標準傷害保険）の概要を説明したものです。

詳しい補償内容については、JA安心俱楽部のパンフレット(PE102100)をご覧ください。

また、ご契約の際には、必ず「重要事項説明書」をお読みください。

パークゴルフをプレー中にケガをしてしまった…。



傷害死亡保険金
傷害後遺障害保険金
傷害部位・症状別保険金

素振り中、他人にケガをさせてしまった。

打った球が他人に当たってしまった…。

個人賠償責任保険金



借りていたクラブを壊してしまった…。

受託品賠償責任保険金



クラブが折れてしまった…。

クラブが盗まれた！！

携行品損害保険金



制度概要は、下記までご照会ください。

ご不明な点については、下記の取扱代理店・引受保険会社へお問い合わせください。

[事務取扱者]

J A十勝池田町
TEL 015-572-3131

[取扱代理店]

JA十勝池田町 TEL (015) 572-3131

[引受保険会社] 共栄火災海上保険株式会社

TEL (03) 3504-0131

(承認番号: B102721OK1005)

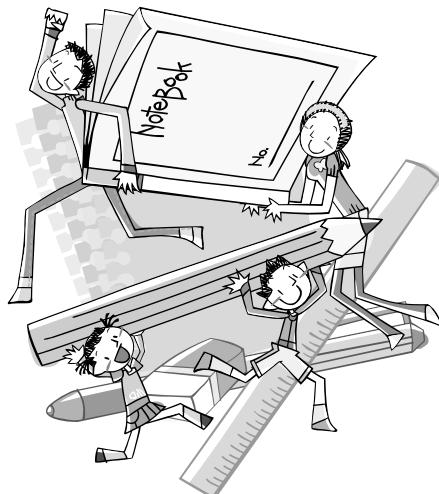


JA教育ローンについてお知らせ

JAの「教育ローン」は、子供の進学進学資金など教育に関するさまざまな資金に利用できるローンで、高校以上の学校に進学予定あるいは就学中の子供を有する方であれば、ご利用いただけます。

資金の使い道には、入学時の学校納付金、その他入学時に必要な資金、在学中の学校納付金のほかにも、アパート代や下宿代にも利用することができます。また借入申込日以前に支払った費用についても、資金の使用目的が確認できるものであれば、ローンの借入金額に含めることができます。ただし借入申込日の3か月前までとなります。（保証機関により異なります）

商品内容につきましては下記の通りになります。



ご利用いただける方

- ◇お借入時年齢 20歳以上
- ◇最終償還時年齢 71歳未満
- ◇前年度税込年収 150万円以上
- ◇勤続（または営業）年数
原則として1年以上
- ◇高校以上の学校に就学予定または
就学中の子供を有する方

学費に関するミニ知識

私立大学に入学した場合、入学費用に約100万円、在学費用約600～700万円、自宅外通学者の場合は年間約100万円の仕送りが更に必要となります。自宅外通学者の場合4年間で約1,200万円の費用がかかります。

JA教育ローン商品概要

資金使途	入学時の学校納付金、その他入学時に必要な資金、在学中の学校納付金、アパート・下宿代のほか、借入申込日の3カ月前までに支払い済みの資金も対象（保証機関により異なります）
融資期間	在学期間+返済期間 7年6カ月以内（ご融資金額・保証機関により異なる場合があります）
融資金額	500万円以内
融資金利	2.50%
返済方法	元利均等返済
保証	当JAが指定する保証機関の保証をご利用いたしますので、原則として保証人は不要です

JAの「教育ローン」は、教育に関するさまざまな資金にお役立ていただけます

※なお、ローンをご利用いただける方は当JA所定の要件を満たす方に限らせていただきます。
詳しくは金融共済課までお問い合わせください。

営農部通信

営農部
営農課

▶ 農業情報組合員端末機（FAX機）の更新情報について

秋季地区懇談会でお知らせしましたFAX機の更新機種について現在までに検討されている仕様等について紹介致します。

FAX-2810NJA（仮称）の特徴

- ① 一般に市販されているFAX-2810NをJA仕様に改造したものです。
- ② 普通紙ファックスです。
- ③ B4原稿の受信は、A4に自動縮小印刷します。
- ④ ワンタッチボタンが8ヶ所から20ヶ所、短縮が77ヶ所から100ヶ所登録できます。
- ⑤ ファックスからのグループ同報が6グループから8グループできます。
- ⑥ ディスプレイにバックライトがつきます。
操作時・着信時にライトがつき見やすくなります。
- ⑦ 外付け端子があります。
今まで同様に電話機を接続することができます。
- ⑧ 改造により、お昼寝ボタンを新設します。
- ⑨ 最大で1,500枚のメモリー受信できます。（現行は200枚）
- ⑩ 記録紙のセットは給紙カセットに250枚収納できます。
- ⑪ 送信速度が現行より速くなります。
- ⑫ PCプリンター機能があります。（USB・LAN）



▶ 農作業事故には十分注意しましょう！

北海道内では今年度8月末で、16件の農作業中の死亡事故が発生しております（北海道農作業安全運動推進本部のまとめ）。農機を原因とするものが14件でトラクターが横転したりポテトハーベスターに巻き込まれたりする事故が確認されております。

収穫作業が最盛期を迎えておりますが、10月の農作業事故が増加する傾向にありますので、作業には一層の注意で農作業事故をおこさないようお願い致します。

1. 東部4町（幕別・池田・豊頃・浦幌）の作業事故の実態

表 農作業事故の対象物件と事故詳細（H16年～H22年）

	飛来	墜落 落下	落下物	打ち付 ・激突	挟まれ 巻き込	暴れ 蹴り	切れ 擦れ	転倒	その他	合計
トラクター		16	2	6	12			9	10	55
その他機械	2	29	16	20	80		18	26	21	212
小農具			1	1			9		3	14
大動物		1	1	7	17	189	3	11	14	243
施設整備		12	1	4	3		1	10	3	34
その他	1	13	2	2	6		1	17	18	60
合計	3	71	23	40	118	189	32	73	69	618

2. 農作業防止を防ぐ対策

① 「挟まれ」・「巻き込まれ」事故に備える

- ・機械の調整・整備等（つまり物除去含め）は、必ずエンジンを止めてから行いましょう。
- ・作業がし易く、だぶつきの少ない服装と安全装備（安全靴・手袋等）に心がけましょう。
- ・二人以上で作業する時や危険と思われる作業に入る前には、必ず声を掛け合いましょう。

② 機械等からの落下事故に備える

- ・必ず機械を止めてから乗り降りしましょう。
- ・機械から降りる際は、機械側に体を向けて降りましょう。
- ・飛び乗る、飛び降りを習慣化しないようにしましょう。

③ 機械類全般を通して

- ・作業中機械のトラブル対応には、必ずエンジンを停止しましょう。
- ・機械類の下に入る時は充分注意しましょう。
- ・ダンプトラックの荷台を上げ作業するときは、油圧を過信せず、念のためストッパーを用意しましょう。
- ・トラクターの停止方法を家族全員でマスターしておきましょう。
- ・機械に近づくときは必ず前から近づきましょう。
- ・高齢者や子どもの存在にも注意しましょう。

④ 十勝でも近年、公道での事故報告がみられます。

- ・夕方や夜間に走行する時は、早めの合図、早めの点灯を励行しましょう。
- ・低速車マーク反射シールなどを貼り、トラクターの位置や作業の大きさが目立つようにしましょう。

農産部通信 農産部 農産課・施設課

▶指導チーム活動状況

8月下旬～9月中旬の指導チームは肥料・農薬の推進や、研修会を中心として活動してきました。

1. 指導チーム圃場巡回

～8月27日 豆・ビート～

金時のインゲンマメゾウムシの発生状況、収穫開始時期、豆類の菌核病、灰かび病、ビートの褐斑病の発生状況を中心に巡回しました。インゲンマメゾウムシは発見されず、豆に関しては病害の発生は少なかったです。ビートは、褐斑病がわずかに出ていました。

2. 指導チーム肥料・農薬巡回推進

～8月22日 小麦除草剤巡回補完推進～

効果的な除草剤の使用方法をお知らせする為に、前回、不在だったお宅を中心に巡回いたしました。

～8月24・29日 エルサン乳剤巡回推進～

近年、金時類でインゲンマメゾウムシによる被害が増加しています。そのため、防除薬剤としてエルサン乳剤の推進巡回を行いました。当JAに出荷されている金時豆の生産者には全員エルサン乳剤を準備して頂きました。

～8月25・26日、9月14日 春肥料巡回補完推進～

ホクレン肥料などの関係機関と春肥料の巡回推進を行いました。9月以降の予約では奨励金の額が変わってしまうため、8月最終として巡回いたしました。肥料の価格動向などについても生産者と会話する機会があり、とても有意義な巡回となりました。また、肥料の銘柄など思案中のお宅を中心に9月にも補完推進を実施致しました。

3. 研修会の実施

～9月7日

ビート栽培研修会～

ビート栽培研修会を当JA担当の北糖職員様を講師としてお招きし開催致しました。当初は試験圃場で現地研修会を行う予定でしたが、悪天候のため当JAの大会議室で行



われました。現在主に栽培されている品種「リッカ」「フルーテンR」「リボルタ」の特徴・現在試験中の品種について説明があり、黒根病に強い品種が試験段階としてあげられています。

また、昨年のシロオビノメイガ大量発生や一部圃場で発生している「西部萎黄病」「褐斑病」の対策を説明して頂きました。特に平成21年に初発が確認されている西部萎黄病と一部で多発が見られている褐斑病は、糖分に大きく影響します。西部萎黄病はモモアカアブラムシが伝搬するウイルス病です。対策としては、移植・直藩とともにモモアカア布拉ムシの防除が必要となり、さらに移植は灌注薬剤の使用を徹底することが重要となります。直藩の土壤pHについては、池田町の圃場は全体的に低めという結果が出ています。平成24年産の栽培にあたっては、pH測定と石灰施用を的確に行なうことが大切です。

また、今年産の最終防除は既に終了していることと思いますが、来年度以降につきましても「ほのぼの情報」「農業技術情報」を発行し、タイムリーな情報提供に努めて参りますので、是非ご活用ください。

～9月8日 小麦研修会～

きたほなみ栽培の研修会を28名の組合員にご参加を頂き、当JA大会議室で開催致しました。十勝農業改良普及センター東部支所と指導チームで、きたほなみの生産実績や特徴から、24年産に向けてどのように栽培していくかをテーマに行いました。

指導チームからは、23年産の生産実績と栽培状況を解説し、そこから、24年産の栽培方法について検討いたしました。きたほなみの整粒率を刈取時期、水分の関係から特徴を割り出し、地区別に考察しました。また、止葉期の追肥を多くしている地区的整粒率が比較的良好なことから、止葉期の追肥が大きく関係していると推察されました。個人別に見た場合も同じ傾向で、春先の茎数コントロールと追肥のタイミングが重要と考えられました。きたほなみとホクシンの品種の違いに関しては、茎数の増え方、タンパクの上がり方、倒伏による影響の違いを考えた栽培が大切です。また、「pHの改善・心土破碎による排水対策・鎮圧による根浮きの防止・病害虫に対する適期防除・過度の連作はしない」など基本的な技術の励行は何よりも肝心となります。

普及センターからは、24年産に向けての栽培のポイントについて、説明をして頂きました。23年産の結果を踏まえ、24年産は春の茎数コントロールが重要として、は種量の調整が必要となります。

きたほなみのは種について、池田町の気候の特徴を考えた上で、は種量の考え方や基肥の窒素量についての説明をして頂きました。

研修会に参加できなかった方におきましても、9月の広報に資料を同封させて頂いておりますので、24年産きたほなみ栽培の参考にして頂きたいと思います。





畜産部通信 畜産部 畜産課

8月家畜市場成績（ホクレン十勝市場・十勝中央家畜市場開催分）

肉牛市場上位5傑（去勢）

【体重(kg)・金額(円)】									
8月17・18日	父	母の父	母の祖父	日令	体重	価格(税込)	kg単価	日令単価	D G
1	若茂勝	安茂勝	茂重桜	296	311	507,150	1,631	1,713	0.95
2	菊福秀	金幸	平茂勝	276	329	489,300	1,487	1,773	1.08
3	白清85の3	平茂勝	第1花国	283	335	485,100	1,448	1,714	1.08
4	北安勝23	安糸福	平茂勝	279	315	458,850	1,457	1,645	1.02
5	安茂勝	北国7の8	平茂勝	282	351	447,300	1,274	1,586	1.14
全 体	十勝 平均			284	310	398,813	1,285	1,417	0.99
	JA十勝池田町平均			286	310	396,454	1,281	1,395	0.98
十勝最高	若茂勝	百合茂	安糸福	302	332	515,550	1,553	1,707	1.00

肉牛市場上位5傑（メス）

【体重(kg)・金額(円)】									
8月17・18日	父	母の父	母の祖父	日令	体重	価格(税込)	kg単価	日令単価	D G
1	安福久	平茂勝	福桜(宮崎)	294	303	632,100	2,086	2,150	0.94
2	安茂勝	安福久	金幸	309	343	470,400	1,371	1,522	1.02
3	国牽白清	福栄	北仁	280	318	403,200	1,268	1,440	1.04
4	北平安	平茂勝	第1花国	296	315	390,600	1,240	1,320	0.97
5	福安照	平茂勝	安平	327	334	385,350	1,154	1,178	0.94
全 体	十勝 平均			299	294	345,632	1,177	1,169	0.90
	JA十勝池田町平均			299	287	340,200	1,182	1,152	0.87
十勝最高	第1花国	平茂勝	菊谷	280	358	646,800	1,807	2,310	1.18

主要種雄牛別成績（去勢）【金額(円)】

	種雄牛	取引頭数	平均価格(税込)
1	北平安	89	387,721
2	平忠勝	52	388,985
3	安茂勝	49	399,793
4	百合茂	40	418,425
5	北乃大福	35	403,380

主要種雄牛別成績（メス）【金額(円)】

	種雄牛	取引頭数	平均価格(税込)
1	北平安	57	333,587
2	安茂勝	51	339,232
3	茂勝栄	43	322,155
4	福安照	37	346,415
5	安福勝	35	318,720

F1・育成・乳牛・馬市場【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
8月4日	乳牛育成	345	235,316
8月24日	乳牛初妊	552	502,290
	乳牛経産	170	313,184
8月19日	F1去勢	401	237,792
8月20日	F1メス	482	192,002
8月31日	農用馬1才オス	37	616,946
9月1日	農用馬1才メス	42	600,075
	農用馬3才以上メス	2	619,500

枝肉市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
8月6日	黒毛去勢	A-5	1,812
		A-4	1,549
		A-3	1,352
8月6日	黒毛メス	A-5	1,820
		A-4	1,552
		A-3	1,246
8月6日	F1去勢	B-3	1,107
		B-2	821
		B-3	1,084
		B-2	824

十勝中央家畜市場【金額(円)】

開催月	区分	平均価格(税込)
8月	乳牛才オス初生	29,455
	F1才オス初生	100,243
	F1メス初生	59,118



▶ 黒毛和種種雄牛の系統の特徴について②

系統一糸桜系

特 徴	産子に肉質の良い点を強く伝える
美 点	体積、中軀、尻幅
借 点	前軀、肩付、下胸、肘後、骨緊まり
産 肉 性	肉量もさることながら、粗ザシではあるが脂肪交雑に優れている
代表種雄牛	第7糸桜、北国7の8、第1花国、福之国、平茂晴、糸福

○第7糸桜系（4つのタイプに大別）

早肥早熟、増体良い、性質温厚で群飼い適、哺乳能力高い、多産傾向（繁殖牛）

①北国7の8タイプ

長所：肉質が高度に安定、肩幅厚い、脂質良好。

短所：体高がやや低い、増体は並、受胎率やや悪い（繁殖牛）

②糸晴波タイプ

長所：増体が極めて良い、早肥早熟。

短所：ビタミン欠乏、牛舎管理不良に弱い、均称体型が悪い、骨太。

③景藤タイプ

長所：肉質が良い、脂肪付着しにくい傾向、多産で子だし良い（繁殖牛）

短所：肩幅薄い、胴長、背線緩い傾向。

○糸福系

長所：強健性に富む、ロース芯良い、肩幅厚い（バランス良い）

系統一気高系

特 徴	飼いややすく、飼料の利用性に富み、泌乳能力に優れている
美 点	発育、体積均称資質、背腰、後軀幅、下けん部
借 点	肢蹄（つなぎ）肋張
産 肉 性	肉量面に優れ枝肉重量は大きいが、ロース芯面積は小さい傾向にある
代表種雄牛	福桜、平茂勝、勝忠平、百合茂、安茂勝

○気高・栄光系

長所：増大が非常に優れ強健。性質温厚、子育て良い（繁殖牛）

短所：ロース芯が小。均称体型悪い、脂肪の質・きめしまり悪い。

岡山 └─糸桜系（島根）

└─清国系

鳥取 └─栄光系

└─気高系（鹿児島）

交配の基本
長所を採用して欠点を補う

前回と今回の2回に分けて、主な系統の特徴を解説しましたが、繁殖生産において非常に大事な点であります。

今後の種雄牛選定において、改めて系統の特徴を再確認し、品質向上に努めていきましょう。

理事会の動き

第7回 <平成23年9月27日>

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退について
- (2) 小麦の壳渡実績について
- (3) 農産物の生育状況について
- (4) 農産物の出荷状況について
- (5) 組合財務の現況について
- (6) 8月末仮決算について
- (7) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
- (8) 金利設定会議、ALM委員会、有価証券に係る要領等の改正及び制定について
- (9) JA共済コンプライアンス点検の実施結果について
- (10) 内部審査及び内部監査報告について

★ 議案 ★

- (1) 組合員の出資金持分減口承認願いについて
- (2) 自治監査報告書について
- (3) 役職員就業中災害補償規程の改正について
- (4) 地区懇談会の顛末とその対応について

★ 協議案 ★

- (1) 十勝農協連海外農業研修視察参加について

5 今月のオススメ



栗ご飯

材料 (4人分)

栗(皮付き) 400g
米 米用カップ2(300g)
餅米 米用カップ1(150g)
水 450ml
大豆水煮 50g

A 酒 大さじ2
しょうゆ 大さじ1
塩 小さじ2/3
砂糖 小さじ1

作り方 (1人分 約543kcal)

①栗は熱湯に約20分漬けて皮をやわらかくしてから、鬼皮と渋皮をむく。たっぷりの水に30分くらい漬けて、アク抜きをする。

②餅米と米は一緒に洗って水気を切り分量の水に30分以上漬ける。

③①の水気を切って②に入れ、大豆の水煮、Aの調味料を加えて混ぜ、普通に炊く。

※冷凍した栗を使う場合、さっと熱湯に通してから使用すると冷凍臭が取れておいしくいただけます。

9月は台風12号の影響で農作業が遅れてしまったり、作物に影響が出たりと収穫期には痛手となってしまいました。実は私の実家も農家で今は農作業に追われている状況です。先日は私も1年振りにボートハーベスターに乗り、収穫の手伝いをしましたが何回やつてもやはり大変ですね。この広報が届く頃には、この忙しさも少しばかり落ち着く事を願っています。

くれぐれも焦りによる、農作業事故には気をつけてくださいね！(E)

